

緑 が 丘

「ぼく・わたしが主役」～「自分できめる」「みんなと究める」～

令和8年10月 30日発行

三木市立緑が丘小学校



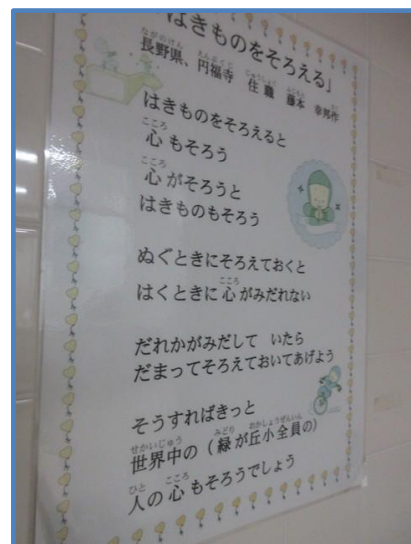
そろえる と 「揃う」

緑が丘小学校のトイレに、10 年以上前から、右画像の「はきものをそろえる」という詩が貼ってあります。これは、長野県にある円福寺というお寺のご住職を務められた藤本幸邦(こうほう)さんという方の詩です。終戦直後のこと、上野駅の周りの闇市に集まってきた子どもたちの様子に心を痛み、3 人の子供を連れて、自分が住職を務める長野県のお寺に帰られ、20 人、30 人とどんどん増えていったそうです。ある日、玄関に脱ぎ捨てられた靴から藤本さんは「はきものがそろうと きもちがそろう」という詩を作られたのだそうです。本校掲示のものには「(緑が丘小全員の)人のところがそろうでしょう」とあります。

多様化という言葉をよく耳にし、個性を尊重することにバランスの針が動くことが多いこのごろです。たかが「はきもの(靴)」です。が、「揃う」には、「揃える」、ひとりひとりの気持ちと行動(ふるまい)が必要です。今、その時、自分のことだけという一瞬だけでなく、あとのこと、人を思いやる丁寧な心遣いの一つです。



今、音楽会に向け、様々な音や声が、いっぱいです。「できた」「もうできる」という声や笑顔にも出会います。一つの音、ひとりの「できた」は「できた」のかもしれませんが。その子の嬉しさに寄り添い、一緒に喜びつつ、みんなの「**いっぱいのところ**」を揃える楽しさを実感できる機会にしてほしいと思います。みんなで「創る」こと、「究める」ことは楽しいことです。言葉や音に気持ちをのせ、みんなで創り出す姿、ハーモニー、メロディを楽しみにご来校ください。そして、目の前の子どもたちの姿だけでなく、「**これまで**」(ああ、小さいときは、こんな演奏していたなあ)や、「**これから**」(大きくなったら、こんなこともできるようになるのかあ)にも、思いを馳せながら、秋のひとときを楽しんでいただけると幸いです。(校長 佐野 順子)



こころ

からすえいぞう

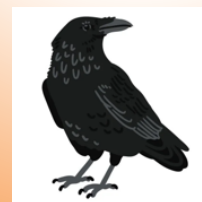
ゆうやけが
あんまり きれいだったりと
おれ しんとした ところになる
ゆうやけの ところへいつて
はなしあいたくなる

なにを はなすかっていうと
あかちゃんだったときの
こととかさ
しょうらいどうなるのかって
こととかさ……

いつもは こんなこと
おもわないんだぜ

……………

おれ ところ
いっぱい もっているんだな



くどうなおこ「のはらうた」より